

# 題材名

「あふれるイメージ ～クレイアニメーションの世界～」(第3学年)



## 題材の概要

クレイアニメーションとは、主に粘土を材料としてコマ撮りをする表現で、動きの自由さや変形の多様さなど、独自の魅力があります。

本題材では、共通したテーマを設定し、材料の種類と量も制限して、共同で表現を行いました。個人の活動で、アイデアを広げ、素材などとじっくり対話させました。その後、それぞれのアイデアのよさを確認し、生かしながら、グループでの表現を行いました。



## ツール・機能、分類

ツール・機能・・・ 端末の撮影機能

分類…………… 調査活動、協働活動、製作・制作・創作活動





## 題材の目標

### 知識・技能

- 形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果、クレイアニメーションの造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解する。（〔共通事項〕）
- 意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表す。（「A表現」(2)）

### 思考・判断・表現

- 粘土から感じる形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。（「A表現」(1)）
- 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。（「B鑑賞」(1)）

### 主体的に学習に取り組む態度

- 美術の創造活動の喜びを味わい、クレイアニメーションの構成の美しさや楽しさ、表現したい思いなどを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。



## 表現の条件として提示した内容

ねらいに応じて工夫しましょう！

- 共通のテーマは、「あふれる」
- 作品（動画）の長さは、30秒以内
- 作品に、音はつけない
- 使用できる粘土の色は、2色（白及びシルバークレイ）
- 使用できる粘土の量は、1人約900グラム







## 端末の活用場面①

インターネットを使って画像を検索し、粘土による表現の参考にしている様子



- 調べたいと思ったときに、すぐその場所でインターネットにアクセスし、画像等を検索することができました。
- 本題材では、表現活動において、撮影のために必要な対象（人体の骨格、魚、食物など）そのものの形のリアルさを求めるグループが多かったため、とても有効に活用できました。



## 端末の活用場面②

端末の撮影機能を使って、アニメーションのための画像を撮影している様子



- 簡単に撮影することができました。本題材のように、表現そのものに活用することもあれば、ポートフォリオ用に、ワークシートや作品を撮影することも考えられます。
- 一般的なデジタルカメラと比較すると、液晶画面が大きいいため、撮影や確認の際にも見やすいという利点があります。端末によって、画質に差があるので、配慮が必要です。



## 端末の活用場面③

画像をスライドさせながら、アニメーションとしての動きを確認している様子



黒板を使って撮影した画像を確認しているところです。  
クレイアニメーションが始まる前にカウントダウンを表示しようと試みました。

- 撮影した画像などを、容易に確認できました。また、表示の仕方を工夫したり、スライドさせて順に見たりすると、アニメーションの原理に基づいた見方ができました。
- 撮影の後、画像を編集ソフトでアニメーション化し、鑑賞会を行いました。



## さいごに

- 表現で制限する時間をもう少し短くし、個人で撮影まで完結させる展開も考えられます。生徒の実態、授業のねらいに応じて、工夫してみましょう。

